

表2 旧210処方の方の見直し案における適切な表現に変更すべき効能・効果

No.	漢方処方名	効能・効果、しぼり		備考
		変更が必要と考えられる表現	変更後の表現案	
182	茯苓飲	体液中等度あるいはそれ以下で、はきけや胸やけがあり尿量減少するもの次の諸症	体液中等度あるいはそれ以下で、はきけや胸やけ、上腹部膨満感があり尿量減少するもの次の諸症	
183	茯苓飲加半夏	体液中等度あるいはそれ以下で、はきけや胸やけが強く、尿量減少するもの次の諸症	体液中等度あるいはそれ以下で、はきけや胸やけが強く、上腹部膨満感があり尿量減少するもの次の諸症	
184	茯苓飲合半夏厚朴湯	体液中等度あるいはそれ以下で、気分がふさいで咽喉食道部に異物感があり、ときに動悸、目まい、嘔気、胸やけなどがあり、尿量減少するもの次の諸症	体液中等度あるいはそれ以下で、気分がふさいで咽喉食道部に異物感があり、ときに動悸、目まい、嘔気、胸やけ、上腹部膨満感などがあり、尿量減少するもの次の諸症	
186	伏竜肝湯	体力に関わらず広く用いられる。  つわり、悪心、嘔吐	【体力に関わらず、使用できる※】  （※表記については、効能・効果欄に記載するのではなく、〈効能・効果に関連する注意〉として記載する。）	体力に関わらず使用でき、それ以外のしぼりのない処方の表現の統一
190	防己黃耆湯	肥満に伴う関節痛、むくみ、多汗症、肥満（筋肉にしまりのない、いわゆる水ぶとり）	肥満に伴う関節の腫れや痛み、むくみ、多汗症、肥満（筋肉にしまりのない、いわゆる水ぶとり）	
192	防風通聖散	湿疹  ふきでもの	湿疹・皮膚炎  ふきでもの（にきび）	一律変換② 「湿疹、皮膚炎」は、臨床型や原因の違いなどにより、種々の病名で表現される一群の疾患であり、お互いに切り離せない関係にあります。混乱をさけるための方法として、湿疹・皮膚炎と包括的に表現する案を提示させていただきました。
198	麻杏薤甘湯	蓄膿症  手足のあれ	蓄膿症（副鼻腔炎）  手足のあれ（手足の湿疹・皮膚炎）	一律変換⑨ 補足説明

表2 旧210処方の方の見直し案における適切な表現に変更すべき効能・効果

No.	漢方処方名	効能・効果、しぼり		備考
		変更が必要と考えられる表現	変更後の表現案	
199	麻子仁丸	肌あれ	湿疹・皮膚炎	その効果は肌荒れに限らず、他の湿疹・皮膚炎にも有用例がみられるため、表現の変更案を提示させていただきました。
		ふきでもの	ふきでもの（にきび）	
202	抑肝散	血の道症	血の道症（※） ※血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである （※表記については、効能・効果欄に記載するのではなく、〈効能・効果に関連する注意〉として記載する。）	一律変換③ 一般的ではない用語の説明
		小児疳症	小児疳症（神経過敏）	一律変換⑩ 一般的ではない用語の説明
203	抑肝散加陳皮半夏	血の道症	血の道症（※） ※血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである （※表記については、効能・効果欄に記載するのではなく、〈効能・効果に関連する注意〉として記載する。）	一律変換③ 一般的ではない用語の説明
		小児疳症	小児疳症（神経過敏）	一律変換⑩ 一般的ではない用語の説明
204	立効散	体力に関わらず用いられる。	【体力に関わらず、使用できる※】 歯痛、抜歯後の疼痛	体力に関わらず使用でき、それ以外のしぼりのない処方の表現の統一
		歯痛、抜歯後の疼痛	（※表記については、効能・効果欄に記載するのではなく、〈効能・効果に関連する注意〉として記載する。）	

表2 旧210処方の見直し案における適切な表現に変更すべき効能・効果

No.	漢方処方名	効能・効果、しばり		備考
		変更が必要と考えられる表現	変更後の表現案	
206	竜胆瀉肝湯	こしけ(おりもの異常)	こしけ(おりもの)	一律変換① 一般的ではない用語の説明
209	帯柱朮甘湯	神経質・ノイローゼ	神経症、神経過敏	

表3 一般用漢方処方の改正における新旧対照表

No.	処方名称	旧漢方			新漢方		
		成分・分量	用法・用量	処方構成	しばり	性状	効能・効果 (OMC22新薬用)
1	安中散	桂枝3.5、芍薬3.4、牡蠣3.4、甘草1.4、茯苓5.1 (1.5-2.2、細砂1.2、甘草1.2、良姜0.5)	(1) 散：1回1-2回 1日2-3回 (2) 湯	体液中層以下から虚弱 で腹筋力が弱くなる。神 経性胃炎、慢性 胃炎、胃腸運動 低下、便秘などを伴うも のの次の特徴	体液中層以下から虚弱 で腹筋力が弱くなる。神 経性胃炎、慢性 胃炎、胃腸運動 低下、便秘などを伴うも のの次の特徴	効能・効果 (OMC22新薬用) しばり 性状	用法・用量 用時・用量
1	安中散加茯苓	桂枝3.5、芍薬3.4、牡蠣3.4、甘草1.4、茯苓5.1 (1.5-2.2、細砂1.2、甘草1.2、良姜0.5) 1、茯苓5.0	(1) 散：1回1-2回 1日2-3回 (2) 湯	体液中層以下から虚弱 で腹筋力が弱くなる。神 経性胃炎、慢性 胃炎、胃腸運動 低下、便秘などを伴うも のの次の特徴	体液中層以下から虚弱 で腹筋力が弱くなる。神 経性胃炎、慢性 胃炎、胃腸運動 低下、便秘などを伴うも のの次の特徴	性状	(1) 散：1回1-2回 1日2-3回 (2) 湯
2	胃腸清	山楂2.5-3、芍薬2.0、川芎2.5-3、人参2.0、白朮3.0、茯苓3.4、桂枝2.2、甘草2.3	湯	体液中層以下から虚弱 で腹筋力が弱くなる。神 経性胃炎、慢性 胃炎、胃腸運動 低下、便秘などを伴うも のの次の特徴	体液中層以下から虚弱 で腹筋力が弱くなる。神 経性胃炎、慢性 胃炎、胃腸運動 低下、便秘などを伴うも のの次の特徴	性状	用法・用量 用時・用量
3	胃腸清	厚朴2.5-3、茯苓2.5-3、陳皮2.5-3、芍薬2.5-3、枳実2.5-3、甘草1.5-3、附子1.5-2、細砂2.0、黄連2.0 (芍薬、細砂、黄連のない場合も可)	(1) 散：1回1.5-2回 1日1回 (2) 湯	体液中層以下から虚弱 で腹筋力が弱くなる。神 経性胃炎、慢性 胃炎、胃腸運動 低下、便秘などを伴うも のの次の特徴	体液中層以下から虚弱 で腹筋力が弱くなる。神 経性胃炎、慢性 胃炎、胃腸運動 低下、便秘などを伴うも のの次の特徴	性状	(1) 散：1回1-2回 1日2回 (2) 湯
4	胃腸清	山楂2.5-3、芍薬2.5-3、陳皮2.5-3、芍薬2.5-3、枳実2.5-3、甘草1.5-3、附子1.5-2、細砂2.0、黄連2.0 (芍薬、細砂、黄連のない場合も可)	湯	体液中層以下から虚弱 で腹筋力が弱くなる。神 経性胃炎、慢性 胃炎、胃腸運動 低下、便秘などを伴うも のの次の特徴	体液中層以下から虚弱 で腹筋力が弱くなる。神 経性胃炎、慢性 胃炎、胃腸運動 低下、便秘などを伴うも のの次の特徴	性状	用法・用量 用時・用量
5	五苓散	茯苓4.5-6、芍薬3.4-5、桂枝3.4-5、澤瀉3.4-5、白朮3.4-5 (白朮も可)、甘草2.2、茯苓3.4-5 (茯苓も可)	(1) 散、湯の量 各は原方5倍の量 を以て、5倍の量 の1/5量を用 いる (1日3回)。	体液中層以下から虚弱 で腹筋力が弱くなる。神 経性胃炎、慢性 胃炎、胃腸運動 低下、便秘などを伴うも のの次の特徴	体液中層以下から虚弱 で腹筋力が弱くなる。神 経性胃炎、慢性 胃炎、胃腸運動 低下、便秘などを伴うも のの次の特徴	性状	(1) 散、湯の量 各は原方5倍の量 を以て、5倍の量 の1/5量を用 いる (1日3回)。 (2) 湯
6	五苓散	茯苓3.5、芍薬3.0、山慈竹3.0、大黃0.8-2 2.0、白朮2.0、人参1.0、桂枝2.0、川芎1.0 (芍薬、山慈竹、大黃、白朮、川芎のない場合も可)	湯	体液中層以下から虚弱 で腹筋力が弱くなる。神 経性胃炎、慢性 胃炎、胃腸運動 低下、便秘などを伴うも のの次の特徴	体液中層以下から虚弱 で腹筋力が弱くなる。神 経性胃炎、慢性 胃炎、胃腸運動 低下、便秘などを伴うも のの次の特徴	性状	用法・用量 用時・用量



表3 一般用漢方処方の改正における新旧対照表

No.	旧標準			新標準		
	処方名称	成分・分量	効能・効果	用法・用量	処方構成	しぼり 性状
14	胃腸痛漢方 おうれんげどく とう	黄連3.0、甘草3.0、黄柏1.5-3.0、山椒2.0、 厚朴1.5-3.0、黄芩3.0、山椒2.0、 芍薬3.0	比較的効力があり、 はつきりとした効 果を示す。消化 作用の強い、 比較的強力な ものがある。	鼻出血、不眠症、 頭痛、めまい、 嘔吐、血行不良、 目赤、目痛、 腹痛、夏暑初腫、 驚悸、遺尿、皮膚 炎、皮膚のかゆ み、口内炎	効能・効果 (08052部準用)	用法・用量
15	黄連湯	黄連3.0、甘草3.0、乾姜1.0、人参2.0、 芍薬3.0、大棗3.0、半夏5-8	胃腸の疼痛や重症 のものがある。	鼻出血、不眠症、 頭痛、めまい、 嘔吐、血行不良、 目赤、目痛、 腹痛、夏暑初腫、 驚悸、遺尿、皮膚 炎、皮膚のかゆ み、口内炎	効能・効果 (08052部準用)	用法・用量
16	乙字湯	黄連4-6、麻黄4-6、黄芩3.0、甘草2- 3、升麻1-2、大棗0.5-1.5	大便がたくて便秘 のものがある。	鼻出血、不眠症、 頭痛、めまい、 嘔吐、血行不良、 目赤、目痛、 腹痛、夏暑初腫、 驚悸、遺尿、皮膚 炎、皮膚のかゆ み、口内炎	効能・効果 (いぼ痔)	用法・用量
16	乙字湯去大棗	黄連4-6、麻黄4-6、黄芩3.0、甘草2- 3、升麻1-2	なし	鼻出血、不眠症、 頭痛、めまい、 嘔吐、血行不良、 目赤、目痛、 腹痛、夏暑初腫、 驚悸、遺尿、皮膚 炎、皮膚のかゆ み、口内炎	効能・効果 (いぼ痔)	用法・用量
17	化食散	人参4.0、茯苓4.0、茯苓4.0、半夏4.0、 芍薬2.0、大棗2.0、麻黄2.0、黄芩 2.0、山椒2.0、厚朴1.5、乾姜 1.0、桂枝1.0	胃腸の弱いもの がある。	鼻出血、不眠症、 頭痛、めまい、 嘔吐、血行不良、 目赤、目痛、 腹痛、夏暑初腫、 驚悸、遺尿、皮膚 炎、皮膚のかゆ み、口内炎	効能・効果 (いぼ痔)	用法・用量
18	瀉熱止乾散	白朮3.0、半夏3.0、茯苓3.0、厚朴 2.0、麻黄2.0、附子1.5、白芷1.5、 芍薬1.0、黄芩1.0、大棗1.0、大 黄1.0、桂枝1.0、甘草1.0	なし	鼻出血、不眠症、 頭痛、めまい、 嘔吐、血行不良、 目赤、目痛、 腹痛、夏暑初腫、 驚悸、遺尿、皮膚 炎、皮膚のかゆ み、口内炎	効能・効果 (いぼ痔)	用法・用量
19	瀉熱瀉毒散	黄連5-6、黄芩3.0、黄芩3.0、甘草2.0	なし	鼻出血、不眠症、 頭痛、めまい、 嘔吐、血行不良、 目赤、目痛、 腹痛、夏暑初腫、 驚悸、遺尿、皮膚 炎、皮膚のかゆ み、口内炎	効能・効果 (いぼ痔)	用法・用量
20	瀉熱紅花湯	黄連3.0、芍薬3.0、甘草3.0、麻黄 1.0、山椒1.5、紅花1.0、大棗0.5- 1.0、甘草1.0	なし	鼻出血、不眠症、 頭痛、めまい、 嘔吐、血行不良、 目赤、目痛、 腹痛、夏暑初腫、 驚悸、遺尿、皮膚 炎、皮膚のかゆ み、口内炎	効能・効果 (いぼ痔)	用法・用量











表3 一般用漢方処方の改正における新旧対照表

No.	処方名称			旧基準			新基準案			
	よみがな	成分・分量	効能・効果	用法・用量	効力構成	しぼり	性状	しぼり	性状	用途・用途
48	桂枝加瀉朴杏湯 けいしかこうぼくきょうにんとんとう	桂枝3-4、芍薬3-4、炙甘草2-4、生姜3-4、大枣2-4、厚朴1-4、杏仁3-4	身体虚弱なもの	湯	桂枝3-4、芍薬2-4、炙甘草1-4、大枣1-4、生姜1-5 (ニホシヨウカクを使用する場合3-4)、甘草1-6、厚朴1-4、杏仁1-5-4	しぼり	性状	しぼり	性状	用途・用途
49	桂枝加芍薬生姜人参湯 けいしかしやくじやうにんじんとう	桂枝3-4、芍薬3-4、炙甘草2-4、人参2-4.5	なし	湯	桂枝3-4、芍薬3-4、炙甘草2-4、人参2-4.5、甘草1-6、大枣1-4-4	しぼり	性状	しぼり	性状	用途・用途
50	桂枝加芍薬大黄湯 けいしかしやくやくだいろうとう	桂枝4.0、芍薬4.0、炙甘草2.0、大枣4.0、生姜2.0、厚朴2.0、炙甘草2.0	腹がはって、腹膨満感、腹痛あり等状するもの次の症	湯	桂枝3-4、芍薬4.0、炙甘草2.0、大枣1.5 (ニホシヨウカクを使用する場合3-4)、甘草1-2	しぼり	性状	しぼり	性状	用途・用途
51	桂枝加芍薬湯 けいしかしやくやくとう	桂枝4.0、芍薬4.0、炙甘草2.0、大枣4.0、生姜4.0	腹膨満感のある次のしぼり類、腹痛	湯	桂枝3-4、芍薬4.0、炙甘草2.0、大枣1.5 (ニホシヨウカクを使用する場合3-4)、甘草2	しぼり	性状	しぼり	性状	用途・用途
52	桂枝加芍薬湯 けいしかしやくやくとう	桂枝4.0、芍薬4.0、炙甘草2.0、大枣4.0、生姜4.0、加工附子0.5-1	なし	湯	桂枝3-4、芍薬3-4、炙甘草2.0、大枣1.5 (ニホシヨウカクを使用する場合3-4)、甘草2、厚朴3-4 (白朮も可)、加工アズナ5-1	しぼり	性状	しぼり	性状	用途・用途
53	桂枝加芍薬枳実湯 けいしかしやくじやくじやうとう	桂枝4.0、芍薬4.0、炙甘草2.0、大枣4.0、枳実4.0	なし	湯	桂枝3-4、芍薬3-4、炙甘草2.0、大枣1.5 (ニホシヨウカクを使用する場合3-4)、甘草2、厚朴4 (白朮も可)、加工アズナ5-1、枳実4	しぼり	性状	しぼり	性状	用途・用途
54	桂枝加芍薬枳実湯 けいしかしやくじやくじやうとう	桂枝3-4、芍薬3-4、炙甘草2.0、枳実2.0、大枣3.0	体質の虚弱な人で腹れやする、小腹痛、小気逆等やする、膨満しやすいもの次の症	湯	桂枝3-4、芍薬3-4、炙甘草2.0、大枣1.5 (ニホシヨウカクを使用する場合3-4)、甘草2、厚朴2.0、枳実2.0	しぼり	性状	しぼり	性状	用途・用途

表3 一般用漢方処方の改正における新旧対照表

No.	処方名称			旧基準			新基準				用法・用量
	よみがな	成分・分量	製法・処置	製法・処置	用法・用量	処方構成	しぼり	性状	しぼり	性状	
55	桂枝人参湯 けいしじんじんとう	桂枝4.0、人参3.0、芍薬3.0、甘草3.0、 附子2.0(生薬不可)	煎湯、乾燥、水性質 煎湯、胃汁トニ	桂枝4.0、人参3.0、芍薬3.0、 白朮3.0(生薬も可)	湯 (1)煎：1回2-3回 1日3回 (4歳以上) (2)煎：湯 (3)煎：湯 (4)煎：湯 (5)煎：湯	桂枝4.0、人参3.0、芍薬3.0、 白朮3.0(生薬も可)	比較的能力があり、ときに下腹膨満、嘔こり、腹重、めまい、のぼせて足冷えるなどの症候を伴うもの次の特徴	比較的能力があり、ときに下腹膨満、嘔こり、腹重、めまい、のぼせて足冷えるなどの症候を伴うもの次の特徴	比較的能力があり、ときに下腹膨満、嘔こり、腹重、めまい、のぼせて足冷えるなどの症候を伴うもの次の特徴	比較的能力があり、ときに下腹膨満、嘔こり、腹重、めまい、のぼせて足冷えるなどの症候を伴うもの次の特徴	用法・用量
56	桂枝茯苓丸 けいしふくりゅうがん	桂枝4.0、茯苓4.0、牡丹皮4.0、桃仁4.0、芍薬4.0	煎湯、乾燥、水性質 煎湯、胃汁トニ	桂枝4.0、茯苓4.0、牡丹皮4.0、 桃仁4.0、芍薬4.0	(1)煎：1回2-3回 1日3回 (4歳以上) (2)煎：湯 (3)煎：湯 (4)煎：湯 (5)煎：湯	比較的能力があり、ときに下腹膨満、嘔こり、腹重、めまい、のぼせて足冷えるなどの症候を伴うもの次の特徴	比較的能力があり、ときに下腹膨満、嘔こり、腹重、めまい、のぼせて足冷えるなどの症候を伴うもの次の特徴	比較的能力があり、ときに下腹膨満、嘔こり、腹重、めまい、のぼせて足冷えるなどの症候を伴うもの次の特徴	比較的能力があり、ときに下腹膨満、嘔こり、腹重、めまい、のぼせて足冷えるなどの症候を伴うもの次の特徴	用法・用量	
57	桂枝茯苓丸加薑朮 けいしふくりゅうかしょうじやく	桂枝4.0、茯苓4.0、牡丹皮4.0、桃仁4.0、芍薬4.0、薑朮10.0-20.0	煎湯、乾燥、水性質 煎湯、胃汁トニ	桂枝4.0、茯苓4.0、牡丹皮4.0、 桃仁4.0、芍薬4.0、薑朮10.0-20.0	湯 (4歳以上に限る)	比較的能力があり、ときに下腹膨満、嘔こり、腹重、めまい、のぼせて足冷えるなどの症候を伴うもの次の特徴	比較的能力があり、ときに下腹膨満、嘔こり、腹重、めまい、のぼせて足冷えるなどの症候を伴うもの次の特徴	比較的能力があり、ときに下腹膨満、嘔こり、腹重、めまい、のぼせて足冷えるなどの症候を伴うもの次の特徴	比較的能力があり、ときに下腹膨満、嘔こり、腹重、めまい、のぼせて足冷えるなどの症候を伴うもの次の特徴	用法・用量	















表3 一般用漢方処方の改正における新旧対照表

No.	処方名称	旧基準				新基準案			
		成分・分量	製法・効果	用法・用量	処方構成	製法・効果	用法・用量	処方構成	製法・効果
96	四物湯 しもつとう	当帰3-4、芍薬3-4、川芎3-4、地黄3-4	<p>虚寒あるいは高血圧の患者の回復、月経不調、冷え症、しもやけ、しみ、肌炎、産後失血、血の運送</p>	(1) 煎：1回1.5-2L、1日3回 (2) 湯（4歳以上に限る）	当帰3-5、芍薬3-5、川芎3-5、地黄3-5	<p>月経不順、月経異常、更年期障害、血の運送、冷え症、貧血、むくみ、産後失血、あるいは高血圧の患者の回復</p>	しばり	<p>月経不順、月経異常、更年期障害、血の運送、冷え症、貧血、むくみ、産後失血、あるいは高血圧の患者の回復</p>	<p>用法・用量 (1) 煎：1回1.5-2L、1日3回 (2) 湯</p>
97	四苓湯 しれいとう	茯苓4.0、芍薬4.0、白朮4.0、猪苓4.0	<p>のどが潤いて水を飲むでも尿量が少ない、むくみ、嘔吐、腹痛、急激なむくみのいずれかを伴う次の特徴</p>	(1) 煎：1回1.5L、1日3回 (2) 湯	茯苓4.0、芍薬4.0、白朮4.0、猪苓4.0	<p>体力が弱ならず広く尿用できる、のどが潤いて水を飲むでも尿量が少ない、むくみなどのいずれかを伴う次の特徴</p>	しばり	<p>体力が弱ならず尿用できる、のどが潤いて水を飲むでも尿量が少ない、むくみなどのいずれかを伴う次の特徴</p>	<p>(1) 煎：1回1.5L、1日3回 (2) 湯</p>
98	芍薬甘草湯 しゃくやくかんそう	芍薬3-4、甘草1.5-2.0	<p>体力が弱く、急激なむくみ、急激なむくみのいずれかを伴う次の特徴</p>	湯	芍薬3-4、甘草1.5-2.0	<p>体力が弱くならず広く尿用できる、のどが潤いて水を飲むでも尿量が少ない、むくみなどのいずれかを伴う次の特徴</p>	しばり	<p>体力が弱くならず尿用できる、のどが潤いて水を飲むでも尿量が少ない、むくみなどのいずれかを伴う次の特徴</p>	湯
99	桂枝湯 〔三味湯調製法〕 しゃくやくかんそう	麻黄3-5、大棗1-5、甘草1-5	<p>なし</p>	湯	麻黄3-5、大棗1-5、甘草1-5	<p>体力が弱くならず広く尿用できる、のどが潤いて水を飲むでも尿量が少ない、むくみなどのいずれかを伴う次の特徴</p>	しばり	<p>体力が弱くならず尿用できる、のどが潤いて水を飲むでも尿量が少ない、むくみなどのいずれかを伴う次の特徴</p>	湯
100	芍薬甘草湯 しゃくやくかんそう	芍薬3-6、甘草3-6	<p>なし</p>	湯	芍薬3-6、甘草3-6	<p>体力が弱くならず広く尿用できる、のどが潤いて水を飲むでも尿量が少ない、むくみなどのいずれかを伴う次の特徴</p>	しばり	<p>体力が弱くならず尿用できる、のどが潤いて水を飲むでも尿量が少ない、むくみなどのいずれかを伴う次の特徴</p>	湯
101	蛇床子湯 じゃしょうしとう	(外用) 蛇床子10.0、油桐10.0、威靈仙10.0、苦参10.0	<p>急激におこる尿向のけいれんを作す特徴</p>	なし	蛇床子10.0、油桐10.0、威靈仙10.0、苦参10.0	<p>急激なけいれんを作す特徴、急激なけいれん、尿向のけいれん、尿向のけいれん、尿向のけいれん</p>	しばりなし	<p>急激なけいれんを作す特徴、急激なけいれん、尿向のけいれん、尿向のけいれん、尿向のけいれん</p>	<p>水1,000mLを煮立て濃縮し200mLとし外用する</p>

表3 一般用漢方処方処方の改正における新旧対照表

No.	処方名称	旧基準			新基準案				
		成分・分量	効能・効果	用法・用量	処方構成	しばり	症状	効能・効果 (000528診療用)	用法・用量
102	十全大補湯	人参2.5-3.0、黄耆2.5-3.0、芍薬3.0、茯苓3.0、当帰3.0、芍薬3.0、地蔵3.0、川芎3.0、桂枝3.0、甘草1.5	虚体の体力低下、虚汗、四肢無力、手足の冷え、貧血	湯 (原則として) (1) 煎: 1回1.5日回 (2) 湯: 上記量を1日量	人参2.5-3.0、黄耆2.5-3.0、芍薬3.0、茯苓3.0、当帰3.0、芍薬3.0、地蔵3.0、川芎3.0、桂枝3.0、甘草1.5	虚後、虚後の体力低下、虚汗、四肢無力、手足の冷え、貧血	虚後、虚後の体力低下、虚汗、四肢無力、手足の冷え、貧血	虚後、虚後の体力低下、虚汗、四肢無力、手足の冷え、貧血	湯 (原則として)
100	十味散	黄耆2.5-3.0、茯苓2.5-3.0、芍薬2.5-3.0、人参2.5-3.0、当帰2.5-3.0、芍薬2.5-3.0、地蔵2.5-3.0、川芎2.5-3.0、桂枝2.5-3.0、甘草1.5	化膿性皮膚感染症、急性皮膚感染症の初期、じんましん、急性性遷延性、水虫	(1) 煎: 1回1.5日回 (2) 湯: 上記量を1日量	黄耆2.5-3.0、茯苓2.5-3.0、芍薬2.5-3.0、人参2.5-3.0、当帰2.5-3.0、芍薬2.5-3.0、地蔵2.5-3.0、川芎2.5-3.0、桂枝2.5-3.0、甘草1.5	化膿性皮膚感染症、急性皮膚感染症の初期、じんましん、急性性遷延性、水虫	化膿性皮膚感染症、急性皮膚感染症の初期、じんましん、急性性遷延性、水虫	化膿性皮膚感染症、急性皮膚感染症の初期、じんましん、急性性遷延性、水虫	(1) 煎: 1回1.5-2日回 (2) 湯: 上記量を1日量
104	滋陰湯	地黄3.0、熟地黄3.0、乾地黄3.0 (地黄6.0)、附子2.0、肉桂2.0、杏仁2.0、枳実2.0、大棗1-1.5	虚熱	(1) 煎: 1回2-3日回 (2) 湯: 上記量を1日量	地黄3.0、熟地黄3.0、乾地黄3.0 (地黄6.0)、附子2.0、肉桂2.0、杏仁2.0、枳実2.0、大棗1-1.5	虚熱	虚熱	(1) 煎: 1回2-3日回 (2) 湯: 上記量を1日量	
105	高麗一芍湯	(芍薬) 白芍 (芍薬) 2.0、甘草2.0、黄耆2.0、黄芩2.0、紅花2.0	ものもらい、ただれ目、はやり目	各生薬を湯合液、水300mlを加え煎じて、200mlとす。決明または湯を添える	白芍 (芍薬) 2.0、甘草2.0、黄耆2.0、黄芩2.0、紅花2.0	ものもらい、ただれ目、はやり目	ものもらい、ただれ目、はやり目	【用法】煎から湯、使用できるものもろい、ただれ目、はやり目	
106	生薬漢心湯	半夏2.0、人参2.0、黄耆2.0、甘草2.0、茯苓2.0、白朮2.0、乾薑1.0、乾薑1.0 (乾薑生薬2.0)	みぞおちがつかえた感じがあり、げっぷがを伴う次の状態	湯	半夏2.0、人参2.0、黄耆2.0、甘草2.0、茯苓2.0、白朮2.0、乾薑1.0、乾薑1.0 (乾薑生薬2.0)	みぞおちがつかえた感じが伴う次の状態	みぞおちがつかえた感じが伴う次の状態	湯	
107	小建中湯	桂枝3.0、芍薬3.0、人参2.0、炙甘草2.0、茯苓2.0、白朮2.0、熟地黄2.0	虚寒性腹痛、嘔吐、下痢、四肢無力、手足の冷え、貧血	湯	桂枝3.0、芍薬3.0、人参2.0、炙甘草2.0、茯苓2.0、白朮2.0、熟地黄2.0	虚寒性腹痛、嘔吐、下痢、四肢無力、手足の冷え、貧血	虚寒性腹痛、嘔吐、下痢、四肢無力、手足の冷え、貧血	湯	
108	柴朴湯	柴胡2.0、半夏2.0、人参2.0、黄耆2.0、茯苓2.0、白朮2.0、乾薑1.0、乾薑1.0 (乾薑生薬2.0)	気分がふるさとして、嘔吐、寒熱、頭痛、四肢無力、手足の冷え、貧血	湯	柴胡2.0、半夏2.0、人参2.0、黄耆2.0、茯苓2.0、白朮2.0、乾薑1.0、乾薑1.0 (乾薑生薬2.0)	気分がふるさとして、嘔吐、寒熱、頭痛、四肢無力、手足の冷え、貧血	気分がふるさとして、嘔吐、寒熱、頭痛、四肢無力、手足の冷え、貧血	湯	
109	小柴胡湯	柴胡2.0、黄芩2.0、人参2.0、炙甘草2.0、芍薬2.0、半夏2.0	はきけ、嘔吐、寒熱、頭痛、四肢無力、手足の冷え、貧血	湯	柴胡2.0、黄芩2.0、人参2.0、炙甘草2.0、芍薬2.0、半夏2.0	はきけ、嘔吐、寒熱、頭痛、四肢無力、手足の冷え、貧血	はきけ、嘔吐、寒熱、頭痛、四肢無力、手足の冷え、貧血	湯	